



1年間のまとめと新学年への準備・感謝の3学期

雪が多く残る校庭ですが、日差しの明るさに、春が近づいていることを感じます。

3学期は、「1年間のまとめと新学年への準備の学期」です。新学年で良いスタートをきることができるよう、自分がやるべきことを考えて目標をたて、しっかり取り組んでほしいと思っています。短いからこそ、集中して取り組むことのできる学期でもあります。

また、3学期は「感謝の学期」でもあります。人は誰でも、周りの人に支えてもらいながら生きています。お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えることのできる学期にしていきたいと考えています。放送で行った始業式では、「人」という字を、空中に書きながら、支えられている自分を思い描きました。自分をいつも支え見守ってくれる人、教え導いてくれる人への感謝、学校のリーダー6年生への感謝、校舎への感謝など、感謝の気持ちを、「ありがとう」の言葉や行動で示すことのできる3学期です。



鶺鴒の心 1～4学年編

「鶺鴒小学校は、^{えがお}笑顔あふれる場所」(2年 ^{ばしよ}さんの感想から)

1月の臨時休業、2月の学級閉鎖では、保護者の皆様にご対応いただきまして、誠にありがとうございました。感染した方をはじめ自宅待機となった方等、それぞれのお立場で大変な思いをなさったことと推察いたします。

この期間に、強く感じたのは、鶺鴒の保護者の方々の温かさでした。常に、相手への思いやりの心をもち、気配りをする謙虚な姿に、感謝の思いが募った日々でした。学校からの様々な連絡にも、冷静かつ実直に伝えていただきました。労いの言葉までいただいたことに改めて感謝申し上げます。

今も予断を許さない状況ではありますが、うかいいこたちは、学校で明るく元気に過ごしています。

臨時休業が終わり、学校を再開した2月1日に、全校朝会を行いました。放送で、校長から全校児童に「思いやりの心と感染予防の大切さ」を伝えました。その後、教室では相手の気持ちを想像しながら考えたことを書きました。子どもたちが綴った文章からは、友達を思いやる気持ち、自分達がこれからやることへの決意など、温かさや真剣さが伝わってきました。一人一人が、自分事としてとらえ思いを表現しています。鶺鴒の心です。

ふあんなことは、どこかにとじこめて、まずは、楽しいことをかんがえればだいじょうぶだよ！コロナなんかこわくないよ！自分はずよい、コロナにまけないということだけを考えればいいんだよ。そんなふあんなんか、自分の力でたおしちやえば、えがおになれるはずだよ。よくなって、学校にこれるのをまってるね！あんしんして学校に来てね！みんなはやさしいよ。

(2年生)

ふわふわことばを、おともだちについて、せいかつしていきたいです。「あえて、うれしかったよ。」「また、げんきにあそぼうね。」「あいさつやしょうどくをわすれないよ。」「ともだちがかかったら、かなしいよ。」「だいじょうぶだよ。」「あいたかったよ。」「だいじょうぶ、むりしないでね。」

(1年生たち)

学校が休みのとき、みんなだいじょうぶかなって、おもった。学校まだかなって、おもった。(1年生)

ぼくは、コロナにかんせんした人に、さべつはやりません。どうしてかという、ふあんをかかえながら学校に来た人にさべつを言うと、もっとかなしんだり、もっとふあんになるからです。びょう気にかかったのはしょうがないから、さべつを言ってはいけないと思いました。鶉飼小学校は、えがおあふれるばしょだからです。
(2年生)

もし、ぼくがコロナになるとしたら、毎日ふあんですごします。コロナになった人は、自分でなったわけじゃないので、とてもかなしいというふあんな気持ちです。でも、友だちとがんばれば、ふあんな気持ちもなくなります。学校に行くのが楽しみで、学校に行けてうれしかったです。あと、先生とべんきょうするのも楽しみでした。校長先生と会えるのもとてもうれしいです。いろいろな先生と会えるのを楽しみにしていました。
(2年生)

ぼくは休校になったとき、とてもびっくりしました。理由は、みんなしっかりとかんせんしないように、予防していたからです。ぼくは、ずっとかんせんした人は、今どうしているのかなやだいじょうぶかなと、思っていました。

もし、自分がかかったらどうしようと不安なところもあったけど、先生からの話や電話で、少し安心しました。これからも、コロナに負けないように、がんばっていきたいです。
(4年生)

わたしは、病いんの方が一番たいへんだと思います。その人たちは、かんじゃさんをうけいれてけんさをしおわったら、また、次のかんじゃさんをいれてけんさをして、かんじゃさんのけんさがおわったら、コロナウイルスではないとかんじゃさん一人一人のけんさをしおわったのをしらべるので、病いんの方は、毎日がたいへんだと思います。

人のためにはたらいているので、わたしは、すてきだと思います。わたしも、そういう人になりたいです。
(3年生)

わたしは、友だちが学校に来た時、かかってない時みたいに「いっしょに遊ぼう」「おはよう」などの言葉をかけてあげたら、いい気持ちになると思います。なので、わたしは、やさしい言葉をかけてあげたいと思います。わたしだったら、学校にきて「おはよう」と言ってほしいです。今日から学校が始まりました。休んでいた時、早くみんなにあいたいなと思いました。
(3年生)

友だちはかかっていないかなと心配に思った。自分がかかっていないけど、友だちはと思うと、心配で安心できなかった。校長先生が言っていたように、鶉飼にはやさしい人しかいない。だから何の心配もせず、もどってきてほしい。もどってきたら、みんな何もなかったかのようにふるまう人やだいじょうぶだったか心配してくれる人がいると思う。
(4年生)

スキー学習

～上達の喜びを、学びに向かう力につなげて～

今年度、スキー教室は中止となりましたが、学校の大きなスキー山では3年生以上のスキー学習が行われました。

学年が上がるにつれて、腕前は確実に上達しています。スキー靴を履くことが難しかった子は、スキー板で歩くことができるようになり、両足を開いて踏ん張っていた子は、板への加重の仕方を少し意識でき、曲がれるようになりました。

ウィンタースポーツ・スキーは、困難な状況でも取り組み続ける根気や、目に見えて上達する達成の喜びを、一人一人に味わわせてくれているようです。ウェアや道具の準備等、ありがとうございました。

